

ぐんまで頑張る職業人の熱意をレポート!

柴崎龍吾の課外授業

Vol.32

うすい学園代表取締役の柴崎龍吾が街に飛び出して、元気に働く人にインタビュー。子どもたちのために、職業の多様性や働くことの意味を毎月レポートしていきます!



エフエム群馬にてインタビュー内容を放送中! 毎週月曜 ワイド番組「ユウガチャ!」内 16:41頃~



うすい学園代表取締役 柴崎龍吾
大学在学中に劇団を主宰し、卒業後は放送作家として活動。1975年に個人塾「横川学習塾」を開校し、以降、うすい学園を展開。子育てや教育に関する著書多数、ラジオ番組出演中。

今月の職業人

合同会社 Armonia 代表 角田真住さん



▲伊勢崎市出身。商品開発において当初はまったく知識がなかったものの、織物の産地である桐生の業者の人々が、いちらから丁寧に教え、一緒に考えてくれたことから、会社は同地に設立。桐生の人みんな温かいと笑顔で話す
◀現在はテストマーケティング中だが、近々、本格的に販売を開始する予定。当初は10種程度を、世界中の人々が購入できるようにインターネットで販売する

コンプレックスを持つ女性が明るく前向きに生きるために

柴崎 今回は、頭髮を失った女性のためのヘッドスカーフ「LINOLEA」を企画販売している、Armoniaの角田真住さんにお話を伺います。少し変わった視点の商品ですが、どういう経緯でヘッドスカーフの開発を始めたのでしょうか。

角田 私自身が2人目の子供の出産後、突然、多発性円形脱毛症を発症したんです。1カ所だけ髪の毛が抜けてしまうのではなく、頭のあちらこちらの毛が抜けてしまう病気で原因は不明。治療を行いました。症状は進行して、半年程度で髪の毛が3分の1ぐらいになりました。

柴崎 髪の毛が抜けてしまうのは、女性にとつてとても辛い経験ですね。
角田 そうですね。ウィッグを着けても

不自然に見えないか、周囲にはれないか、常に不安で暗い気持ちになりました。そんな折、たまたま手持ちのスカーフを頭に巻いて出かけたんです。そしたら友人から「とても素敵ね」と褒められたんです。それが本当に嬉しくて。これがきっかけで、180度考え方を変えることができました。コンプレックスを、プラスに変える。この体験を、髪で悩んでいる女性たちと共有したい。それが事業を始めようと思ったきっかけです。

柴崎 普通の主婦だった角田さんがビジネスを始めるのは、大変だったのではないのでしょうか?

角田 自分自身の経験から、多発性円形脱毛症や抗がん剤治療を受けている人などに、需要はあるだろうと思いました。け

れど、どうやって製品を作ればいいのか、思い描く事業を形にすればいいのか、まったく分かりません。そこで、群馬イノベーションスクールに参加して、いちから勉強し、クラウドファンディングで資金を集めました。出資者のなかには、私のような当事者はもちろん、抗がん剤治療で髪の毛を失った人々のご家族も多くて、社会に必要とされている商品なんだと実感することができましたね。

柴崎 ニツチでも、確かな市場があったのです。ヘッドスカーフ「LINOLEA」は普通のスカーフとどう違うのですか?

角田 気軽、快適、おしゃれにこだわっています。まず気軽ですが、頭の形に縫い込んであるので、着けたい時にすぐ着用できるようにしました。快適性にも注力しています。肌に触れる裏地はアレルギーを起さないシルクにしたのですが、特に群馬県のシルクはホルマリンを使っていないのでとても品質が高いんです。最後におしゃれですが、医療用ウィッグなどは見た目が二の次ですよ。でも女性はやっぱかわいい、素敵と言われたい。そうすれば着けるのも楽しくなります。だからファッションアイテムとして捉えられるよう、ちゃんとデザイナーにデザインしてもらっています。

柴崎 今後の目標を教えてください。

角田 世界中にいる、同様の悩みを持っている女性のコンプレックスを解決し、明るく前向きにしたいですね。

柴崎 病というコンプレックスを事業を起すことでプラスに変え、そして自分が明るく変わっていく過程のお話は感動的でした。近いうちに商品販売が始まるということですから応援したいですね。それではまた次回!



高崎・前橋・伊勢崎・安中・太田周辺の学習塾。中高一貫教育や幼児～大学受験生までの一貫教育に強い地域密着型学習塾「うすい学園」

☎027-310-1919 <http://www.usuigakuen.co.jp/>

Facebookはじめました。「柴崎龍吾の課外授業」の過去記事もUPしています。ぜひご覧ください。